

# 第 32 回 全日本 U-12 フットサル選手権大会 北海道予選

## 道央ブロック大会 開催要項

2022 年 4 月 20 日更新 (修正箇所を赤字で表示)

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ると共に、第 32 回全日本 U-12 フットサル選手権大会北海道代表決定戦の道央ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 第 32 回 全日本 U-12 フットサル選手権大会 北海道予選 道央ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 北空知地区サッカー協会
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会
6. 期 日 2022 年 4 月 29 日(金・祝)、30 日(土)
7. 会 場 砂川市総合体育館  
〒073-0127 砂川市日の出1条南9丁目2-2 TEL 0125-54-2175
8. 参加資格
  - (1) フットサルチームの場合
    - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル 4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する 2010 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
  - (2) サッカーチームの場合
    - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する 2010 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
  - (3) 本大会の地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
  - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
  - (5) 各地区の大会を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
  - (6) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
    - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000 円
    - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000 円
9. 参加チーム及びその数 参加チーム数は、次により選出された 16 チームとする。  
各ブロックの出場枠は次のとおりとする。  
千歳地区 4 チーム、小樽地区 4 チーム、空知地区 4 チーム、北空知地区 4 チーム。
10. 大会形式
  - (1) 1 グループ 4 チームとして 4 グループで 1 次ラウンド(総当たり戦)を行う。
  - (2) 決勝ラウンドは、予選各グループの 1 位、2 位チームが出場するトーナメント方式で行う。
  - (3) 決勝ラウンドの組み合わせは抽選とし、初戦では 1 次ラウンドの同一グループ以外の 1 位と 2 位が対戦するよう配慮する。
  - (4) 3 位決定戦を行う。

- (5) 交流トーナメントは、1次ラウンド各グループの3位のチーム4チーム、各グループの4位のチーム4チームでトーナメント戦を行う。
- (6) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (7) 1次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
  - ① 当該チーム間の対戦成績
  - ② 当該チーム間の得失点差
  - ③ 当該チーム間の総得点数
  - ④ グループ内の総得失点差
  - ⑤ グループ内の総得点数
  - ⑥ PK方式(1チーム5名による5本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

11. 競技規則

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ

- ・大きさ : サイズは原則として、32m×16m
- ・センターサークル : 半径2.5m
- ・ペナルティーエリア四分円の半径 : 5m
- ・ペナルティーマーク : 5m
- ・DFKSAFマーク : 8m
- ・ペナルティーエリア内(DFKSAF)マーク:4m
- ・交代ゾーンの長さ : 4m
- ・タイムキーパーの机の前のエリア : ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m

(2) 守備側競技者のボール等から離れる距離

- ・フリーキック : 4m
- ・コーナーキック : 4m
- ・キックイン : 4m

(3) 使用球は、フットサル3号球とする。

(4) 競技者の数

- ・競技者の数 : 5名
- ・交代要員の数 : 10名以内
- ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 : 2名以内

(5) ベンチに入ることのできる人数は14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。

(6) ユニフォーム

- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。試合の勝者を決定する、いわゆるPK戦においても上記同様の対応とする。尚、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパ

- ーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のシャツ(ビブスなど)で代用することができる。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
  - ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
  - ⑥ ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
  - ⑦ その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。
- (7) 靴  
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。なお、チーム役員にも適用する。
- (8) ビブス  
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) 試合時間
- ① 1次ラウンド(総当たり戦)は、24分間(各12分間からなる2つのピリオド)のランニングタイムとする。
  - ② 決勝ラウンド(トーナメント方式)は、準々決勝戦及び決勝戦を24分間(各12分間からなる2つのピリオド)のランニングタイム、準決勝戦及び3位決定戦は20分間(各10分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとする。
  - ③ 予選ラウンド及び決勝ラウンドのうち準々決勝戦のハーフタイムのインターバルは3分間、準決勝戦、3位決定戦及び決勝戦は5分間とする。
- (10) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
- ① 決勝ラウンドにおいて、勝敗が決しない場合は、PK方式(5人)により勝敗を決定する。
  - ② ただし、準決勝戦および3位決定戦において勝敗が決しない場合は、6分間(各3分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムの延長戦を行い、なおも決しない場合はPK方式(5人)により決定する。
  - ③ 延長戦に入る前のインターバルは5分間とする。
  - ④ PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- (11) タイムアウトは準決勝戦および3位決定戦を除いて適用しない。

### 13. 懲

### 罰

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。

- (6) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、第32回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦出場チームはこの大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (7) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

14. 参加料

参加料 10,000円(消費税込)

15. 参加申込

- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名とする。
- (2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要な事項を記入し、期日までに所属地区サッカー協会を通じて申込先にE-mailで送付すること。  
※チームは事前に所属地区協会の申込みアドレスを確認すること。
- (3) 参加料10,000円(消費税込)は申込と同時に申込先へ納入すること。
- (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を申込先(B)に送付すること。なお、2022年度中に提出済みの場合は不要。
- (5) 申込締切日 2022年4月25日(月) 17時まで 厳守
- (6) 申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則認めない。
- (7) 申込先(A) 北空知地区サッカー協会 事務局長 須藤 章 宛

〒079-0312 空知郡奈井江町字奈井江町 227 番地 16

E-mail : [naie.jfc@gmail.com](mailto:naie.jfc@gmail.com) もしくは [naie.sss@outlook.jp](mailto:naie.sss@outlook.jp)

① 参加申込書(E-mail)

※選手登録番号を必ず記載のこと。

② 地区予選結果(E-mail)

※所属地区サッカー協会が送ること。

③ 懲罰処分アンケート(E-mail)

④ プライバシーポリシー同意書(E-mail)

⑤ 親権者同意書の提出は不要。

[大会参加料等振込口座]

銀行名 : 北海道銀行 滝川支店

口座番号 : 普通 0518077

口座名 : 北空知地区サッカー協会 佐藤 裕幸(サトウ ヒロユキ)

※振込用紙に必ずチーム名、監督名を記載すること。

申込先(B) (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41

北海道フットボールセンター 内

TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

・親権者同意書(郵送)

16. 組合せ

組み合わせは、道央4種ブロック会議において決定する。

17. 帯同審判

参加チームは、3級以上の公認フットサル審判員を1チームにつき1名必ず帯同させること。不帯同は認めない。

18. 監督会議

(1) 日時 : 2022年4月29日(祝・金) 10時00分から

(2) 会場 : 砂川市総合体育館

19. 開会式

行わない。

20. 表彰

(1) 優勝、準優勝、第3位には表彰状及びトロフィーを授与する。

(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。

21. 負傷及び

事故の責任

(1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。

(2) 選手はスポーツ保険、またはそれに準じた保険に加入していること。

22. 新型コロナウイルス感染症対策
- (1) 本競技会は、大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
  - (2) 新型コロナウイルス感染症対策については、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、関係者は健康チェックシートを都度会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
  - (3) 今後の新型コロナウイルス感染症に対する行政の指示や対応によっては、本大会を延期、または中止する場合がある。
23. その他
- (1) **マッチコーディネーションミーティング**  
各試合競技開始時間の 60 分前(ただし、第 1 試合は試合開始 30 分前)に、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員とマッチコーディネーションミーティングを行う。このミーティングにおいて、両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、選手証等の確認、諸注意事項の説明等を行う。
  - (2) **選手証**  
各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を、監督会議及び試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。  
※選手証とは、KICKOFF から出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、また、スマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。
  - (3) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールにより主管協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。  
なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
  - (4) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
  - (5) 決勝ラウンドに、マッチウェルフェアオフィサーを配置する。
  - (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
  - (7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
  - (8) **保護者の観戦は、選手 1 人につき、1 人までとする。**
  - (9) 本実施要項に記載のない事項については、主管地区協会 4 種委員会で決定する。
  - (10) 第 3 位までのチームには、JFA バーモントカップ第 32 回全日本 U-12 フットサル選手権大会北海道代表決定戦への参加を義務づける。

以上